

# 移情閣だより

No.87

## 孫文生誕百四十周年

### 「孫文と南方熊楠」特別展開催

(財)孫中山記念会事務局長 杉森 一興

移情閣祭りに始まり、お月見会、スケッチ会、そして中西進先生の「万葉人のアジア」特別講演企画を大成功裡に終えて、年内はバス旅行、移情閣を描く展覧会を残すだけとなった。今さらながら、友の会の底力は大きいものと感じる。



私が友の会に加入したのは二十二年前のことである。中国との国交開もない時、大きく展開するとの読みがあった。夜に中国語講座が開始されると移情閣の門を叩いた。六角堂は舞子の代表的異人館であった。

移情閣の扇額「飛龍流丹一王震書」の如く、九十年後の今も変わらない夕景は魅力そのものである。授業の掃り際に留學生の先生を囲んでの、感謝と激励会は昔の話、一向に進歩は見られない私だが、当時の先生達は今日、中国学術会の若きリーダーになられた。

人の出会いは多いけれども、友の会の交流は利害関係がない。普段若の姿こそ大きな活動力に

なっている。

少年は大成功者にあこがれる。しかし、その人も時代に翻弄されて、評価は変わることもある。何が大事で、何を目標にすればとの苦闘のときがある。

尊敬するのは勝者ではない、大事なことは自分が人に何を与えられるかの気持ちである。中国から負の遺産を背負って引き揚げてきて、今日であるのも、両親への恩だけでなく、一時期、計算なく、私への養育と戀愛を与えてくれた人がある。社会貢献こそ恩返しである。

財団法人孫中山記念会は孫文の革命の思想を継承し、アジアにおける日本への期待を伝承する場と思う。孫文生誕百四十周年を記念して、「孫文と南方熊楠」特別展が開催された。

三十一歳の孫文と同年代の熊楠、西欧の覇権主義と白色人種優位の風潮の中で、大英博物館での出会いは、東洋の有縁を討論し、共感を得た場所である。熊楠の日記に孫文自記筆の「海外途知書」がこれを示している。

特別展の幕開けに、幸いにも私は事務局勤務となりました。職員一同とも頑張ります。ご支援よろしくお願ひします。

### 公券・移情閣と 舞子風景を描く・展覧会

会 期 2006年12月8日(金)～12月12日(火)  
午前10時～午後5時(最終日は4時まで)  
会 場 神戸市立まちづくり会館ギャラリー  
JR元町 西口下車元町商店街西振袖  
坂神元町  
高麗花隈東口 地下鉄みなと元町 下車

#### ☆ 入賞者表彰式

12月10日(日)午後2時より展覧会会場において行います。

問い合わせは友の会事務局へ ☎078-783-7172

### 移情閣と舞子風景を描く 展覧会 応募規定

- 1 種 目 洋画(水画、パステルを含む)
- 2 出品点数 一人2点以内(自作品に限る)
- 3 出品資格 幼児から大人一般まで
- 4 出品料 一般1,000円、中学生まで300円
- 5 規 格 6号、8号、10号(額装)、  
画用紙因つ切り(額なし可)
- 6 条 件 画面に舞子の風景を入れる事

《作品運入・搬出》\*今年も移情閣です

搬入日時 11月23日(日) 10時～16時

搬出日時 12月17日(日) 10時～16時

場 所 移情閣(今年も移情閣です)

問い合わせは友の会事務局へ ☎078-783-7172

## 孫文記念館リニューアル記念(9月29日) レセプション・講演と音楽の会を終えて

友の会企画運営委員長 竹 中 信 清

講演会講師中西進先生、孫文記念会国内外の来賓もお迎えして、レセプション参加者40名、貝原俊民孫中山記念会理事長の開会挨拶、胡弓同好会講師鳴尾敦子先生の胡弓独奏と会員による胡弓演奏でレセプション開会、来賓の方々と親しく交流を深める楽しい立食パーティのひとときを持つことが出来ました。

13時間場を前に講演会場入口は入場待ちの人が列を作り、講演会期待の熱気に溢れていました。会場300席が満席、補助椅子は25席を追加して、当日入場者数は約330名を数える大盛會。講師中西進先生の「万葉人のアジア」講演に参加者は一体となつて熱心に聴講していました。吉岡美恵子先生の素晴らしいフルートの響き、張文乃先生指揮による移情閣コーラス同好会の美しく心に響く合唱、と音楽演奏会も聴衆を魅了。孫文記念館リニューアル記念行事は大成功裡に終了しました。

移情閣友の会活動への多くの方々のご支援に感謝しています。



貝原俊民孫中山記念館理事長



講演会講師 中西進氏



レセプション参加者



胡弓同好会演奏



張文乃先生と移情閣コーラス



フルート演奏 吉岡美恵子先生

## 2006年 移情閣・スケッチ会

9月17日



大型台風13号の北上に気をもみながら、スケッチ会の日を迎えた。天気予報とうらはらに朝から晴天。風はやや強いがスケッチ会は予定どおり決行する事となった。九州地方まで北上している台風予報のせいも今年のスケッチ会参加者の出足は遅く10時開始の時点で30名ほどの参加者が集まった。

例年通り水田スケッチ会実行委員長の挨拶、竹中スケッチ会講師のスケッチの心得についての短い講義の後、スケッチ会は開始された。

毎年参加される人達も少しずつ見え始め、昼前にはスケッチ会の活気もやや加わり、参加受付者は50名に近くなった。

台風への心配もあって早目に描きあげて帰った人もあり、合評会参加者は約30名、それでも力作が並び午後3時半、少し早目のスケッチ会終了となった。

### 雄大な大橋を目の前に

舞子風景を描く

浦上 君子

台風13号接近。天候を心配しながら出かけてゆく。風こそ強くなっていたが空は明るく明石海峡。淡路島の遠望も良好、描く場所にチョビリ迷ったがやはり移情閣を描くことにする。美しい眺めに感銘を受けながら緑の芝生を前に腰を下す。最後に先生の合評、ご指導を頂く。続きは後日描いてゆくことにして帰途につく。駅近くに来て一瞬大雨になったが安堵した二日でした。

### 「四かいめだよ」

一ねん みなかり さ

四かいさんがしたよ。たいふうがくるっていつてたのに、おてんきでよかつたよ。かぜがきつかつたから、がよろしがなんどもとんでいきそうになつてこまつたよ。

いじょうかくをかきたかつたから、たてものちかくでかいたよ。

がようしつぱいに、すこくきれいにかけてうれしかつたよ。またらいねんもかきたいな。

### 移情閣・スケッチ会

美しい風景を求めて

安田 寿巳江

この日初参加した私は、真っ白なスケッチブックを前に戸惑いつつ、秋の大自然にそびえ立つ移情閣の優美な風格にしばらく心奪われていました。のんびりしすぎたのか、時間内に仕上げたことはできませんでしたが、秋の風を肌を感じながらとても贅沢な時間を過ごすことができました。これからも、五感に染めたいと思っています。

### 同好会備品の保管について

同好会の備品は2階ランダの物入れに保管してください。各同好会で話し合いの上、スペースを決め、そのスペース内に、きちんと収納して下さい。同好会備品の他、友の会活動用備品（椅子、祭り用電球、垂れ幕、シート他）も収納されます。

### 友の会専用室の使用についてお願い

- 1 中国語講座、記念館、友の会行事、同好会例会を優先する。
- 2 申込みは友の会会員に限る。
- 3 所定の申込み用紙にて1ヶ月前より申込みができる。
- 4 申込みは1ヶ月ごとに申請をする。
- 5 飲食は不可とする。
- 6 企画運営委員長の了解を得る。
- 7 各電源の確認。机その他を元のかたちにもどす。
- 8 申込み、使用申請は友の会事務局まで。

